

日本介護食品協議会会員企業ご紹介⑤

企業名：株式会社フードケア

(平成9(1997)年2月3日 創立)

本社所在地：〒252-0231

神奈川県相模原市中央区相模原4-3-14-3階

電話：042-786-7177 (代表)

代表取締役社長：竹内 豊

資本金：1,000万円

最近の売上高：34億4,700万円 (2012年1月期)

主な事業内容：介護用・病態用食品の企画・開発・販売

UDF 担当部署：開発部

UDF 製造販売に対する抱負：

日本初の「とろみ調整食品」は当社代表のアイデアで誕生し、1997年公司創設以後、当社は介護用食品や栄養成分調整商品を通して「口から食べる喜び」を提供してまいりました。

当社の多くの商品は、専門機関との共同研究により生まれ、全国の病院・福祉施設等で使用されています。

人は介護が必要となった時でも食べたり、飲んだりという行為が従来と同じようにできれば食生活に差し障りはありません。しかし、「咬む力」や「飲みこむ力」まで衰えてしまったら、自らの『いのち』を保つために、介護用食品の存在が不可欠になります。

特に当社の代表商品カテゴリーである「とろみ調整食品」につきましては、1997年に発売したデンプン系の『ムースアップ』に始まり、2000年にグアガム系の『ハイトロミール』、そしてキサンタンガム系として2006年にはパワータイプの『ネオハイトロミールⅢ』、2008年には使いやすさを追求した『ネオハイトロミールR&E』、2011年にはコストパフォーマンスに優れた『ネオハイトロミールスリム』を発売し、多様化するニーズに対応してまいりました。また、2007年に発売しましたユニバーサルデザインフード「区分3」の『ふっくらおかゆ』シリーズは、2011年の東日本大震災以降、非常用食材としても大変ご好評いただいております。

さらに2009年に発売しました『しゃりソフト』シリーズは、ソフト冷凍食品として、舌でつぶれるやわらかさとお寿司の本来の味を追求した商品として好評いただいております。

これから本格的な高齢化社会を迎え、介護用食品の必要性がますます高まることは間違いありません。時代のニーズに応え、介護用食品の価値を伝えていくことを当社の企業責任として続けていきます。

『介護や疾病などの分野に食を通じて喜びを創造する』それがフードケアです。

UDF アイテム数：25アイテム

UDFの主な販売先：病院・福祉施設



【会議、催事等の予定】

8月31日(金)～9月1日(土) 第17, 18回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会(札幌)

9月5日(水) 第2回とろみ調整食品ワーキンググループ(缶詰協会会議室)

9月14日(金) 第3回普及委員会(缶詰協会会議室)

9月18日(火) 第3回自主規格分科会(缶詰協会会議室)

9月20日(木) 第2回容器包装研究会(缶詰協会会議室)

9月26日(水)～28日(金) 第39回国際福祉機器展(HCR 2012)(東京ビッグサイト)

【UDF 商品登録状況 (819品目・7月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	0	2	0	52	54
冷凍食品	107	45	349	12	0	513
常温食品	14	55	116	66	1	252
合計	121	100	467	78	53	819

【会員の異動(7月)】

計47社(7月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階 日本缶詰協会内

TEL 03-5256-4801 FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>